

## 第3章 大網白里市における地域公共交通の課題

### 3-1 地域公共交通の現状の整理

大網白里市の地域特性と公共交通の現状把握や、市民などの意向把握アンケート調査結果などを踏まえ、地域公共交通を取り巻く現状を整理しました。

#### 【大網白里市の地域特性や公共交通の現状】

##### 《地域特性》

- 令和2年の国勢調査での総人口は48,129人で平成22年以降減少傾向であり、令和3年4月の高齢化率は32.8%と千葉県の高齢化率(27.3%)より高く、年々高齢化が進んでいます。
- 市域が東西に長く、鉄道駅や商業施設などは、国道128号線以西に集中しています。
- JR大網駅は、特急や通勤快速等が停車するため、千葉市や都心部への通勤・通学者の割合が高くなっています。

##### 《公共交通の現状》

- 市内の公共交通機関は、鉄道・路線バス・高速バス・タクシーに加え医療機関の送迎バスなどの多様な公共交通が運行されています。
- 市内を運行する全てのバス路線は赤字であり、白子車庫線及びサンライズ九十九里線は地域間幹線バスシステムを対象とした国の補助金を受けて運行を維持しています。
- 鉄道や路線バスを補完するために2路線のコミュニティバスが運行していますが、市内には未だに公共交通空白地域が存在しています。

#### 【市民などの意向把握アンケート調査】

##### 《市民アンケート調査》

- 回答者の75.9%の方が運転免許証を所持しており、その内58.5%の方が「現在は返納を考えていない」と回答しています。
- 通勤・通学の交通手段に公共交通機関を利用している方は30.8%であり、42.2%の方が「自家用車を利用している」と回答しています。
- 多くの方が日常的な買い物や通院に市内の施設を利用されています。(買い物：73.8%、通院：67.5%)
- 公共交通に関する市の財政負担については「市が財政負担をするが、住民や企業等も協力して公共交通を維持していくべき(27.6%)」が最も多くなっています。

##### 《利用者アンケート・事業者ヒアリング》

- 利用目的について、路線バスは「通勤・通学」が約半数を占めていますが、コミュニティバスは「買い物」や「通院」に利用している方が多くなっています。
- バスに対する意見・要望は「運行本数の増便」、「IC、回数券の導入」、「電車との乗継ぎ改善」の順に多くなっています。
- 多くの交通事業者が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、利用者が大幅に減少しており、経営に大きな影響を及ぼしています。

## 3-2 地域公共交通の課題

3-1で整理した現状等から、大網白里市における地域公共交通の課題を以下のとおり抽出しました。

### ①高齢者や障がい者等の移動困難者への対応

令和2年国勢調査における総人口は48,129人で平成22年以降減少が続いています。また、高齢化率は32.8%となっており、地域別に見ると特に白里地区(43.0%)で高い傾向にあります。

また、市民アンケート調査における公共交通に対する意見として「高齢者や障がい者の移動手段の確保」が最も多くなっています。

そのため、地域公共交通は、通勤、通学、通院、買い物などの日常生活に必要な移動手段としての役割だけではなく、高齢者や障がい者などの移動困難者に対する外出機会の増加などの役割を担う必要があります。また、円滑な移動を可能とするバリアフリー化を推進するなど、公共交通の環境整備が必要です。

### ②コミュニティバスの見直し

現在、鉄道や路線バスを補完するため2路線のコミュニティバスが運行していますが、市内には未だに公共交通空白地域が存在しています。

市民アンケート調査のコミュニティバスに対する意見として「路線の新設や延伸」が最も多く、多くの方が日常的な買い物や通院は市内で済ませています。(買い物：73.8%、通院：67.5%)

また、利用者アンケート調査のバスに対する意見として「運行本数の増便」が最も多くなっています。

そのため、コミュニティバスでは、改めて担うべき役割や対象者を明確にしたうえで、運行ルート、運行時間帯、運賃等の見直しについて、市の費用負担を考慮しつつ検討する必要があります。

### ③公共交通の役割分担の明確化

市内では、鉄道・路線バス・高速バス・タクシーに加え医療機関の送迎バスなど多様な公共交通が運行されています。

市域を東西に運行する路線バス(白子車庫線、サンライズ九十九里線)は地域間幹線バスシステムを対象とした補助金の交付を受けて運行を維持している他、他の路線バスにおいても利用者数の増加が課題となっています。

利用者アンケート調査における利用目的では、路線バスは「通勤・通学」が約半数を占めており、コミュニティバスは「買い物」・「通院」に利用している方が多く、利用目的が異なっています。

そのため、多様な公共交通機関が共存するためには、路線やターゲット層の競合を避け、各公共交通機関の役割分担を明確化し、利用目的に合ったダイヤ等の見直しを行うなど、効率的な運行を検討する必要があります。

#### ④公共交通間の乗継ぎの改善

本市の市域は東西に長く、鉄道駅や商業施設などは、国道 128 号線以西に集中しており、JR 大網駅を交通結節点として公共交通ネットワークが構築されています。

市民アンケート調査における路線バス等の利用状況では、「鉄道・その他バスとの乗継ぎ」に関する満足度は 31.6%の方が「不満・やや不満」と回答しており、また、利用者アンケート調査のバスに対する意見として「電車との乗継ぎ改善」が多くなっています。

今後、公共交通全体の満足度を高めるためには、既存の交通機関や送迎サービスを活用しつつ、それぞれの機能を最大限に発揮できるよう、各交通機関の利用しやすい接続や乗継ぎに関する負担の軽減、運行情報案内や待合環境の改善など交通結節点の機能強化により、利便性の高い公共交通ネットワークを構築することが必要です。

#### ⑤分かりやすい運行情報の提供

市内を運行している路線バスやコミュニティバスは、バス事業者や市のホームページ上に運行情報等を掲載していますが、初めて市内に訪れる方や、普段バスを使わない人にとって行き先や乗り場などがわかりにくい状況にあります。

また、市民アンケート調査における公共交通の今後のあり方では、公共交通の利用促進策のうち「スマートフォン等への時刻表や乗継ぎ情報の提供・案内」に関する意見が多く、公共交通への理解や利用者を増やしていくためには、公共交通を利用したい方々が、いつでも簡単に運行情報等を確認できる環境の整備が必要です。

#### ⑥多様な主体の連携による持続可能性の確保

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの公共交通事業者は大きな打撃を受けています。バス路線や鉄道ではコロナ禍におけるリモートワークの普及や移動手段の変化から、新型コロナウイルス感染症が収束後も、コロナ禍以前の水準までの需要回復は期待できないと予測されております。

一方で、市民アンケート調査における公共交通に関する市の財政負担については、「市が財政負担をするが、市民や企業等も協力して公共交通を維持していくべき」との回答が最も多くなっており、そのため、市民、地域、交通事業者、行政が役割分担を図りながら、移動利便性の高い都市として、大網白里市のポテンシャルを最大限に発揮出来るよう、上記課題①から⑤までの解決に取り組むとともに、多様な主体が連携し、市の公共交通の現状について理解を深めることにより、持続可能な公共交通の仕組みを構築することが必要です。

### 3-3 大網白里市における公共交通のあり方

#### (1) 公共交通のあるべき姿

公共施設や病院、駅等への移動に際し、自家用車に頼ることなく、誰もが路線バスやコミュニティバス、タクシー等の移動手段を選択できる公共交通網が理想です。

しかしながら、人口減少や自家用車の所有率の増加といった、「公共交通離れ」が加速している状況では、新たなバス路線の新設や既存路線の増便は市民ニーズがあるものの、採算性の面から実現は困難な状況にあります。

そのため、日頃より公共交通の維持・確保に向けて市民へ周知を行い、車社会に生きる若年層や生産年齢層の公共交通利用へ誘導するとともに、高齢者や障がい者等自動車を運転しない方たちの移動手段を確保し、持続可能な公共交通の維持・活性化を目指します。

本市の公共交通の目指す姿は、既存の公共交通サービスを維持して、地域特性に見合った持続可能な公共交通ネットワークを構築し、利便性と効率性を向上させるとともに、市内の公共交通空白地域の解消を図ります。

#### (2) 各公共交通サービスの役割

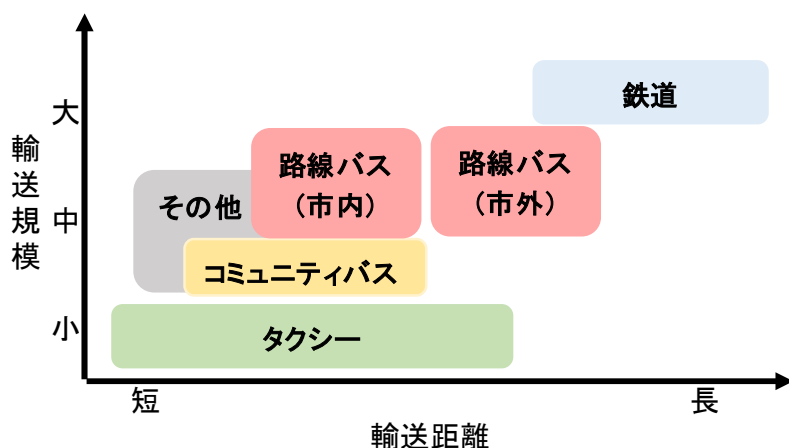
市内における公共交通機関を特性に応じて機能分類し、それぞれの役割を明確化することで、各交通機関の適切な配置が可能となり、競合・重複を回避したより効率的な公共交通サービスを担っていただきます。

#### (3) 公共交通の基本的な考え方

市民生活に必要な移動手段を確保するため、鉄道、路線バス、コミュニティバス等の連携を強化し公共交通のネットワークの構築を図ります。

また、行政や交通事業者だけではなく、地域住民や地元企業等も参画できる仕組みを構築するなど、市民による地域公共交通の維持・確保を進めていきます。

図 14：公共交通の役割分担（輸送規模と輸送距離の関係）

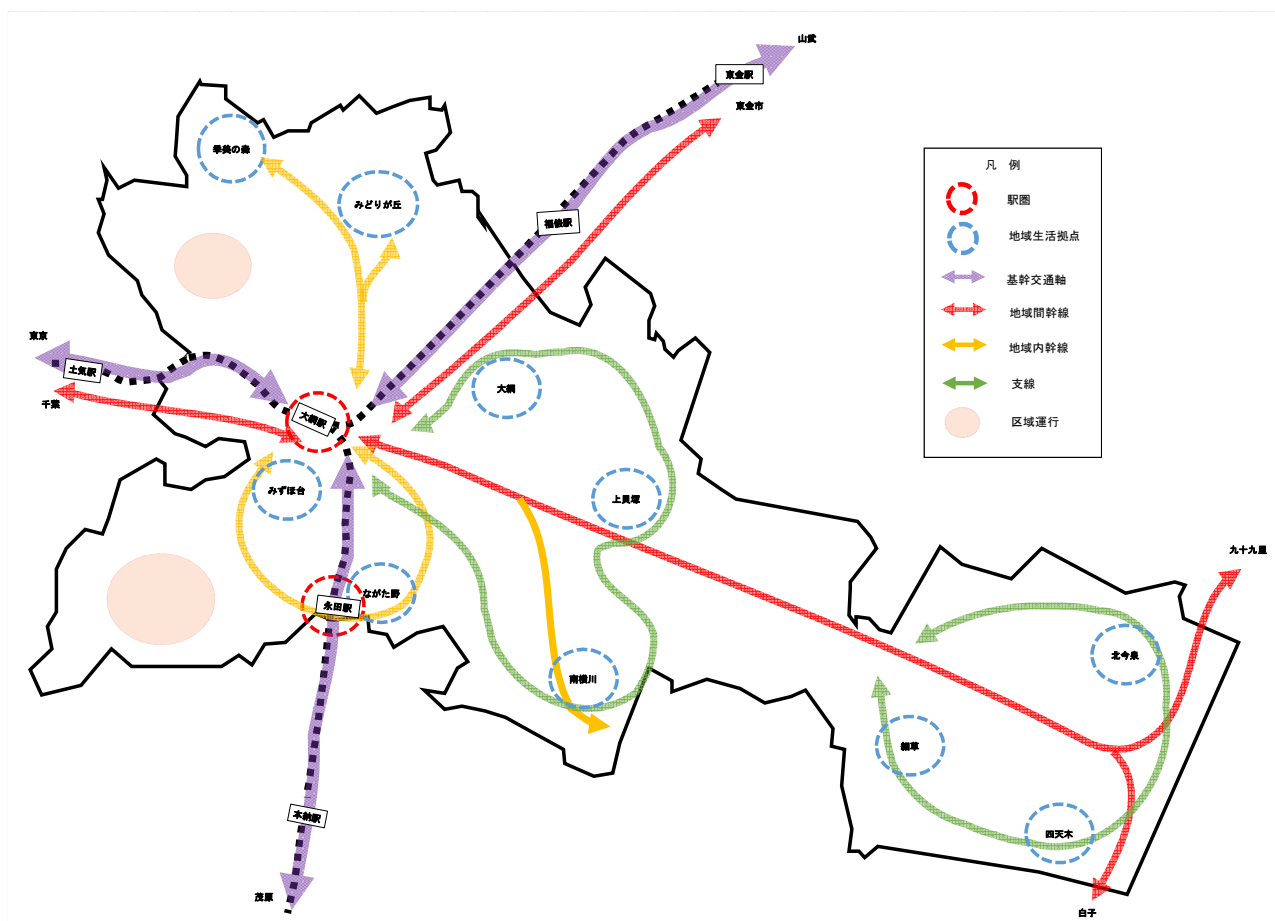


※その他は、医療機関の送迎バスや福祉有償運送等を想定しています。

表 15：公共交通の役割分担（機能による分類）

機能分類	公共交通機関	特性・役割
基幹交通軸	鉄道 (JR外房線、JR東金線)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心部や市外など比較的長距離の移動を、速達性をもって連絡する役割を担います。</li> <li>将来都市構造の実現において、交通軸の役割を担います。</li> </ul>
地域間幹線	路線バス (市内・市外移動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大網白里市と近隣市との連絡、市内の拠点施設間の連絡など、地域の幹線的な交通軸の役割を担います。</li> </ul>
地域内幹線	路線バス (市内移動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の住宅地から鉄道駅・拠点施設へのアクセスなど、比較的需要規模が大きい地域・施設を連絡する役割を担います。</li> </ul>
支線	コミュニティバス 病院等の送迎バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通空白地域の解消や、公共施設などへの連絡など、路線バスを補完する役割を担います。</li> </ul>
面的輸送 区域運行	タクシー 乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の移動ニーズに対応し、面的なサービスを提供する役割を担います。</li> </ul>

図 15：大網白里市における公共交通ネットワークの将来イメージ図

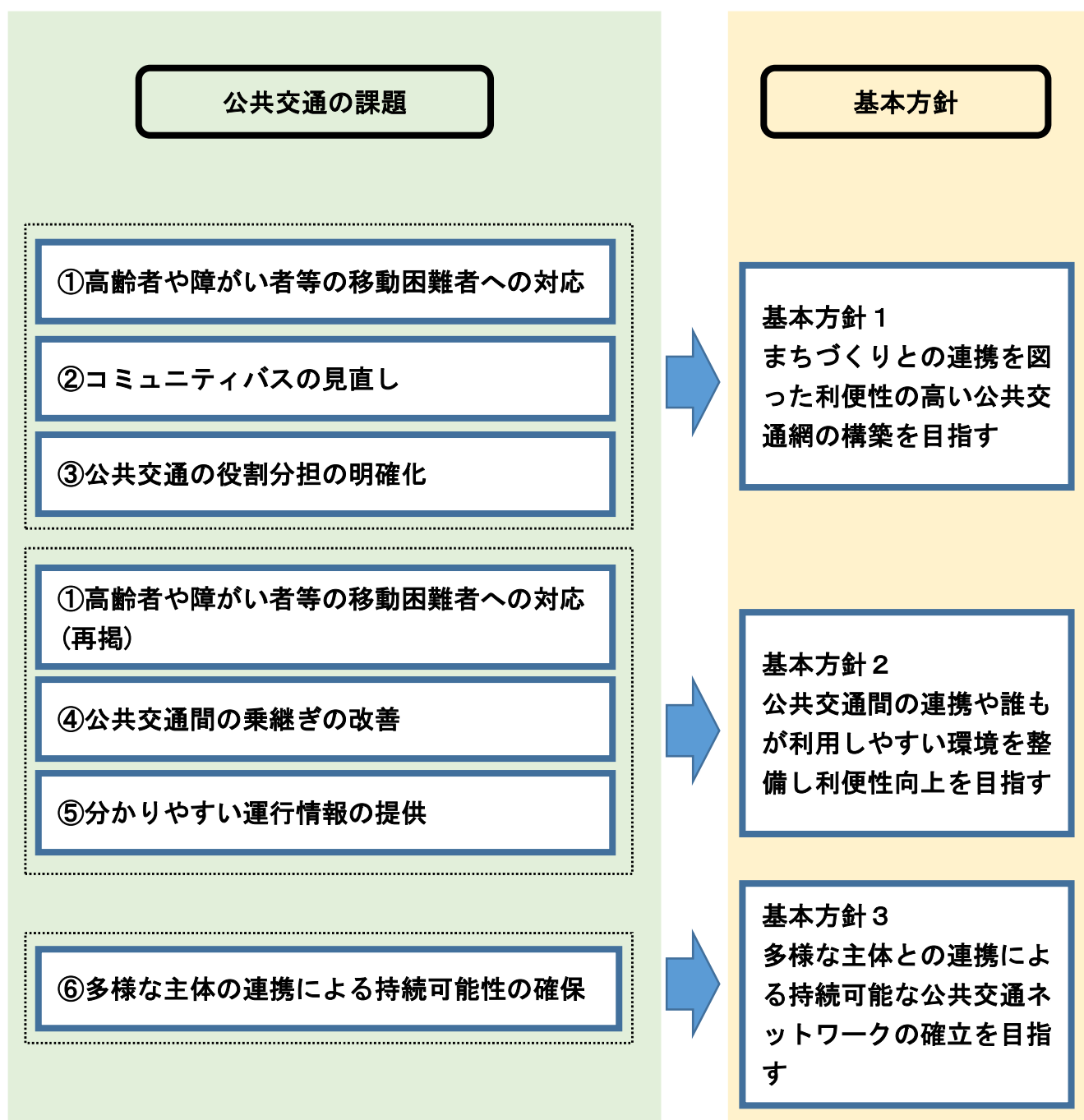


## 第4章 地域公共交通の課題を解決するための基本方針

### 4-1 地域公共交通の構築に係る基本方針

大網白里市における地域公共交通は、上位計画の「大網白里市第6次総合計画」での公共交通の取り組みとして「公共交通の充実」と「新たな交通手段の確保」を掲げています。

大網白里市における地域公共交通は、これらを踏まえ、次の3つの基本方針により、公共交通を必要とする人のための持続可能な公共交通網の構築を目指します。



### **基本方針 1 まちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す**

市内のアクセスを強化するため、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーなどの各公共交通サービスや医療機関の送迎バスなどの民間輸送資源との役割分担を明確にし、利便性と効率性が両立した公共交通ネットワークの再編を目指します。

また、公共交通空白地域の解消に向け、利用者ニーズや意見を踏まえ、新たな交通機関の導入を目指します。

### **基本方針 2 公共交通間の連携や誰もが利用しやすい環境を整備し利便性向上を目指す**

交通機関同士を有機的に接続させ、乗継ぎに対する負担が最小限となるよう、交通結節点での乗継環境（ダイヤ、待合環境、料金など）の整備を目指します。

また、技術革新の動向を見据えつつ、市民や来訪者に分かりやすい利用者目線に立った情報提供の充実を図るとともに、高齢者や障がい者など誰もが容易に移動できる公共交通に関連する施設や車両のバリアフリー化など、人に優しい移動環境の創出を目指します。

### **基本方針 3 多様な主体との連携による持続可能な公共交通ネットワークの確立を目指す**

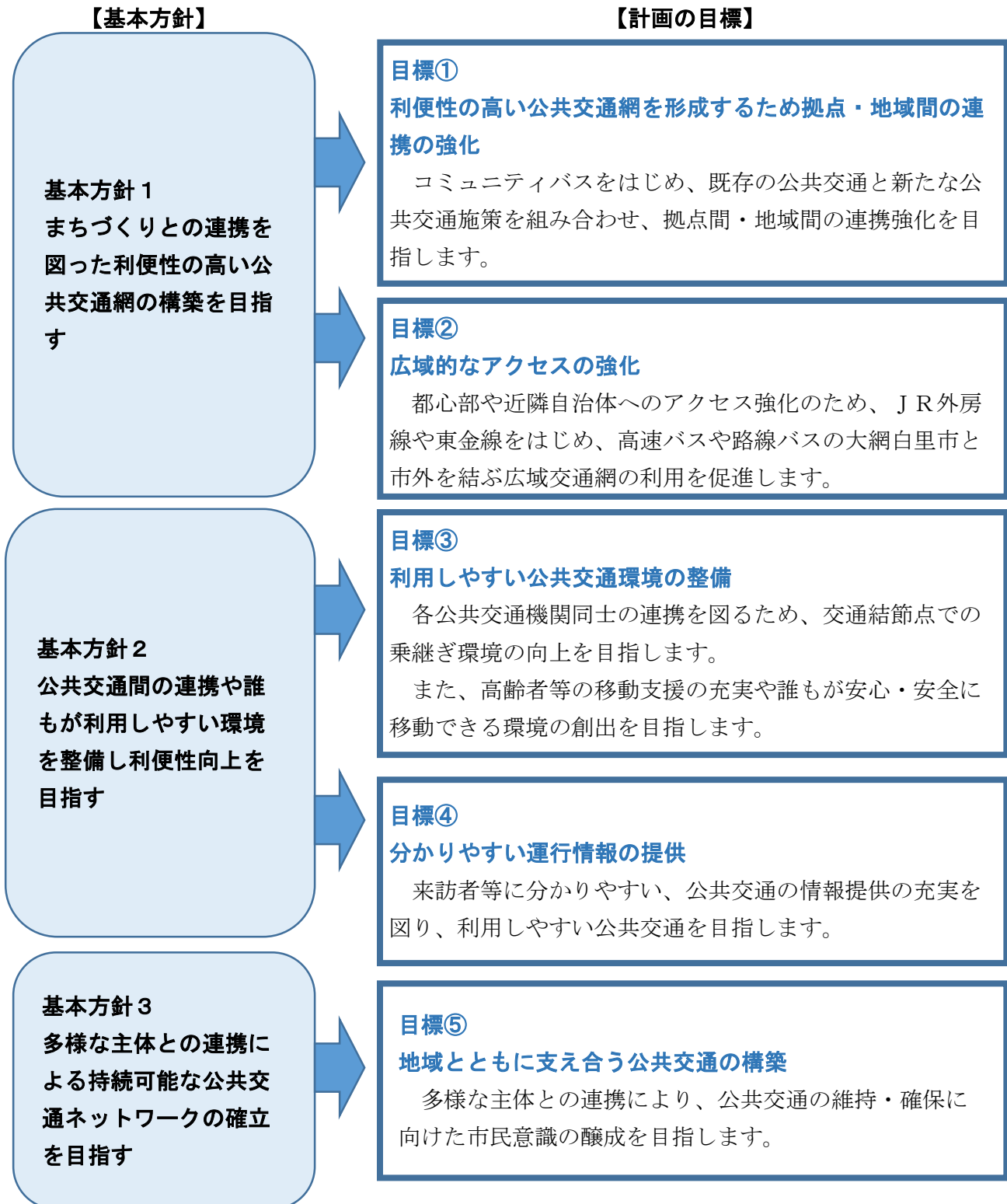
公共交通を取り巻く環境は、モータリゼーションの進展や新型コロナウイルス感染症の感染拡大による利用者数の減少など厳しい状況に置かれています。そのため、持続可能な公共交通ネットワークを確立するには、これまでの行政・交通事業者に依存した公共交通の維持・確保ではなく、市民（地域・地元企業）自らが「自分たちの公共交通は自分たちで守る」ことを意識し、関わりを持つことが重要です。

地域の支え合いを大切にし、社会福祉協議会をはじめ、商工会、観光協会、地元企業など、様々な団体との連携による地域ぐるみの利用促進の展開などにより、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指します。

## 第5章 計画の目標及び実施事業

### 5-1 計画の目標

3つの「基本方針」を実現するため、達成すべき計画の目標を下記のとおり定めます。





## 5-2 実施事業

5つの「計画の目標」の実現に向け、下記のとおり事業を実施します。

基本方針	目標	事業	実施主体					実施時期(年度)				
			大網白里市	千葉県	交通事業者	地域	その他	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
1 まちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す	1 利便性の高い公共交通網を形成するため拠点・地域間の連携の強化	【1】 コミュニティバスの運行	○		○	○		検討・準備		運行実施		
		【1】 年間パスポート・回数券の導入	○		○			内容検討				
		【2】 新たな移動手段の確保	○		○	○		情報収集・アンケート等・実施判断				
		【3】 タクシーの利用促進	○		○			利用啓発・周知				
	【4】 高齢者外出支援事業送迎バスの利用促進	○				○	周知					
	2 広域的なアクセスの強化	【5】 鉄道の利用促進	○	○	○			要望活動実施				
		【5】 イベントの開催	○		○			各種イベント実施				
		【6】 路線バスの利用促進	○	○	○		○	利用啓発・周知				
		【7】 高速バスの利用促進	○		○			利用啓発・周知				
	2 公共交通間の連携や誰もが利用しやすい環境を整備し利便性向上を目指す	3 利用しやすい公共交通環境の整備	【8】 交通結節点の機能強化	○		○			検討・協議・実施			
			【9】 利用しやすい車両の導入促進	○		○			検討・実施			
		4 分かりやすい運行情報の提供	【10】 運行情報提供の充実	○		○			内容検討		周知・配布	
【11】 商業施設等との連携サービス導入			○		○		○	内容検討		周知・実施		
3 多様な主体との連携による持続可能な公共交通ネットワークの確立を目指す	5 地域と共に支え合う公共交通の構築	【12】 公共交通維持・確保に係る市民意識の醸成	○		○	○		行事参加・アンケート等				
		【12】 コミュニティバス広告掲載	○		○	○		継続して実施				

### 5-3 実施事業の概要

実施事業について、目標ごとに事業概要や実施主体、実施時期を整理します。

#### 目標① 利便性の高い公共交通網を形成するため拠点・地域間の連携の強化

#### 【事業1】コミュニティバスの運行

##### ①概要

コミュニティバスは、利便性向上と効率的な運行となるよう、JRのダイヤ改正や市内道路整備状況等の変化に伴うダイヤ調整、利用状況、地域からの要望などを踏まえ、運行ルートの見直し及び運行本数について検討します。

また、路線バスやタクシーなどその他の公共交通との役割を明確化し、効率的で持続可能な交通網を構築していくとともに、利用者の利便性向上を図るため、年間パスポートや回数券の導入について検討します。

なお、コミュニティバスは、公共交通空白地域の解消や鉄道・路線バスを補完する役割を果たすため、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用し、安定的な運行を目指します。

②実施主体：大網白里市、交通事業者、地域

##### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
コミュニティバスの運行	内容検討	➡				
	準備・周知		➡			
	運行実施			➡		
年間パスポート・回数券の導入検討	内容検討・実施判断	➡				

## 【事業2】新たな移動手段の確保

### ①概要

市内に現存する公共交通空白地域の解消や、高齢者や障がい者等の移動手段を確保するため、市の財政状況、効率性等を考慮し、必要に応じて乗合タクシーなどの新たな移動手段を検討します。

②実施主体：大網白里市、交通事業者、地域

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
新たな移動手段の導入・検討	情報収集	—————▶				
	市民アンケート 事業者ヒアリング 内容検討・実施判断	—————▶				

## 【事業3】タクシーの利用促進

### ①概要

タクシーは、自宅から目的地までをドア・ツー・ドアで移動できるため、歩くことが困難な高齢者や障がい者等の移動困難者にとって重要な交通機関です。

市内におけるタクシー車両を維持するため、市ホームページや広報紙などで周知し、利用促進を図ります。

②実施主体：大網白里市、タクシー事業者

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
タクシーの利用促進	利用啓発・周知	—————▶				

## 【事業4】高齢者外出支援事業送迎バスの利用促進

### ①概要

高齢者外出支援事業は、医療法人社団鎮誠会「季美の森整形外科」の協力により、患者送迎用のバスの空席を利用した高齢者のための移動手段確保策として、重要な役割を担っています。

引き続き、当事業の継続を働きかけていくとともに、市ホームページや広報紙などで周知し、利用促進を図ります。

②実施主体：大網白里市、その他（医療機関）

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
高齢者外出支援事業送迎バスの利用促進	市広報紙、ホームページで周知	—————▶				

## 目標② 広域的なアクセスの強化

## 【事業5】鉄道の利用促進

### ①概要

「大網白里市第6次総合計画」の公共交通に関する個別施策の1つに鉄道の利便性の確保を掲げており、これを達成するための施策として、千葉県JR線複線化等促進期成同盟やJR東金線複線化促進協議会を通じ、運行本数の増加や駅施設のバリアフリー化等について、JR東日本に要望活動を実施します。

また、「駅からハイキング」などの鉄道の利用を促進する各種イベントの開催により、利用促進を図ります。

②実施主体：大網白里市、鉄道事業者、千葉県、千葉県JR線複線化等促進期成同盟、JR東金線複線化促進協議会

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
鉄道の利用促進	要望活動の実施	—————▶				
イベントの開催	各種イベントの実施	—————▶				

## 【事業6】路線バスの利用促進

### ①概要

路線バスは地域間や地域内を結ぶ幹線系統として重要な役割を担っており、地域公共交通網を形成するうえで無くてはならない移動手段です。そのため、市広報紙やホームページにて周知し、利用促進を図ります。

また、市内を運行する路線バスのうち「大網駅～白子車庫線」及び「大網駅～サンライズ九十九里線」は地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付を受け運行を維持しており、沿線住民の通勤・通学等に必要な移動手段のため、関係事業者や自治体と協議・調整し、引き続き生産性の向上を図ります。

②実施主体：大網白里市、バス事業者、千葉県、関係自治体（白子町、九十九里町）

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
路線バスの利用促進	利用啓発・周知	—————▶				

## 【事業7】高速バスの利用促進

### ①概要

高速バスは、市内停留所と都心部や空港を乗継ぎなしで結ぶ利便性の高い移動手段ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの路線が運休や廃路線となっています。

そのため、市広報紙やホームページにて周知し、利用促進を図ります。

②実施主体：大網白里市、バス事業者

### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
高速バスの利用促進	利用啓発・周知	—————▶				

### 目標③ 利用しやすい公共交通環境の整備

#### 【事業 8】 交通結節点の機能強化

##### ①概要

交通結節点であるJR大網駅は、鉄道、路線バス、高速バス、コミュニティバス、タクシーなどの多くの交通手段が乗り入れているため、行き先表示や時刻表等の案内、各交通機関同士の乗継案内の充実を図るとともに、乗継ぎの際の利用者の負担軽減を図るため、乗継時間等について、各交通事業者と検討します。

また、鉄軌道駅や観光拠点の周辺などにシェアサイクルやキックスケーターなどの環境に優しい移動サービスを集約した貸出拠点（モビリティ・ハブ）の設置について民間事業者の資金やノウハウを活用するなど、整備手法について検討します。

②実施主体：大網白里市、交通事業者

##### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
交通結節点の機能強化	内容検討・協議・実施	—————▶				

#### 【事業 9】 利用しやすい車両の導入促進

##### ①概要

路線バス、コミュニティバス、タクシー車両について、国や県の補助制度を活用し、高齢者や障がい者等が利用しやすい車両（ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシー等）の導入を促進します。

②実施主体：大網白里市、交通事業者

##### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
利用しやすい車両の導入促進	内容検討・実施	—————▶				

## 目標④ 分かりやすい運行情報の提供

### 【事業10】運行情報提供の充実

#### ①概要

市民や来訪者へ公共交通の運行内容を分かりやすく伝えて、利用の促進を図るため、各公共交通機関のダイヤ、運賃などを掲載した「公共交通マップ」を作成します。

また、運行情報案内のデジタル化を図るため、バス停情報等のオープンデータ化を検討します。

②実施主体：大網白里市、交通事業者

#### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
運行情報提供の充実	内容検討・作成	→				
	周知・配布			→		

### 【事業11】商業施設等との連携サービス導入

#### ①概要

地域の活力やにぎわいの創出を促進するため、各種団体をはじめ、商業施設や店舗等と連携し、公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符発行などを検討します。

②実施主体：大網白里市、交通事業者、その他（地元企業、店舗等）

#### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
商業施設等との連携サービス導入	内容検討・協議	→				
	周知・実施			→		

## 目標⑤ 地域と共に支え合う公共交通の構築

### 【事業12】公共交通維持・確保に係る市民意識の醸成

#### ①概要

モビリティマネジメントの一環として、住民との交流や各区・自治会の行事への参加、アンケート調査を実施することにより、地域住民が主体となって公共交通を支える仕組み作りを構築し、市と住民とが一体となって地域公共交通のあり方等を検討します。

また、地元企業の参画機会として、コミュニティバスへの広告掲載を継続します。

②実施主体：大網白里市、地域（地元企業）

#### ③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）				
		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
公共交通維持・確保に係る市民意識の醸成	自治会行事に参加アンケート実施					
コミュニティバス広告掲載	継続して実施					



## 5-4 計画目標に対する評価指標

計画目標の達成状況を評価するため、各計画目標に対する評価指標を設定します。

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値
1 まちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す	1 利便性の高い公共交通網を形成するため拠点・地域間の連携の強化	コミュニティバス利用者数 ※現状値：令和元年度	31,169 人	現状値
		公共交通全般に関する満足度 ※現状値：令和元年度	2.00	2.25
		高齢者外出支援事業パスカード年間発行枚数 ※現状値：令和2年度	20 件	30 件
	2 広域的なアクセスの強化	市内鉄道駅1日平均乗車人員 ※現状値：令和元年度	11,030 人	現状値
		路線バス利用者数 ※現状値：令和元年度	446,286 人	現状値
2 各公共交通同士の連携や誰もが利用しやすい環境を整備し利便性の向上を目指す	3 利用しやすい公共交通環境の整備	乗継ぎダイヤ等に関する事業者との年間協議回数 ※現状値：令和2年度	1 回	1 回以上
	4 分かりやすい運行情報の提供	運行情報案内に関する利用者満足度 ※現状値：令和3年9月	60.6%	65.6%
		商業施設等との連携サービス導入件数（計画期間内）	—	1 件以上
3 多様な主体との連携による持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す	5 地域と共に支え合う公共交通の構築	地区や団体に対する公共交通PR活動（年間） ※現状値：令和元年度	2 件	2 件以上
		コミュニティバス収支率 ※現状値：令和元年度	31.4%	上昇
		コミュニティバス広告掲載数（年間） ※現状値：令和3年度	2 件	2 件以上

※ただし、これらの数値目標については、社会経済状況等の動向により、必要に応じて見直しを実施します。

## 第6章 計画目標の達成状況の評価及び見直し

### 6-1 計画を推進する仕組みづくり

#### (1) 事業の評価・検証（PDCA）

本計画の進行管理については、少子高齢化や人口減少社会などの社会情勢の変化を踏まえ、目標の達成度や実施事業の状況などを評価し、必要に応じて見直し、改善する「PDCAサイクル」の仕組みにより実施し、目標の達成を目指します。

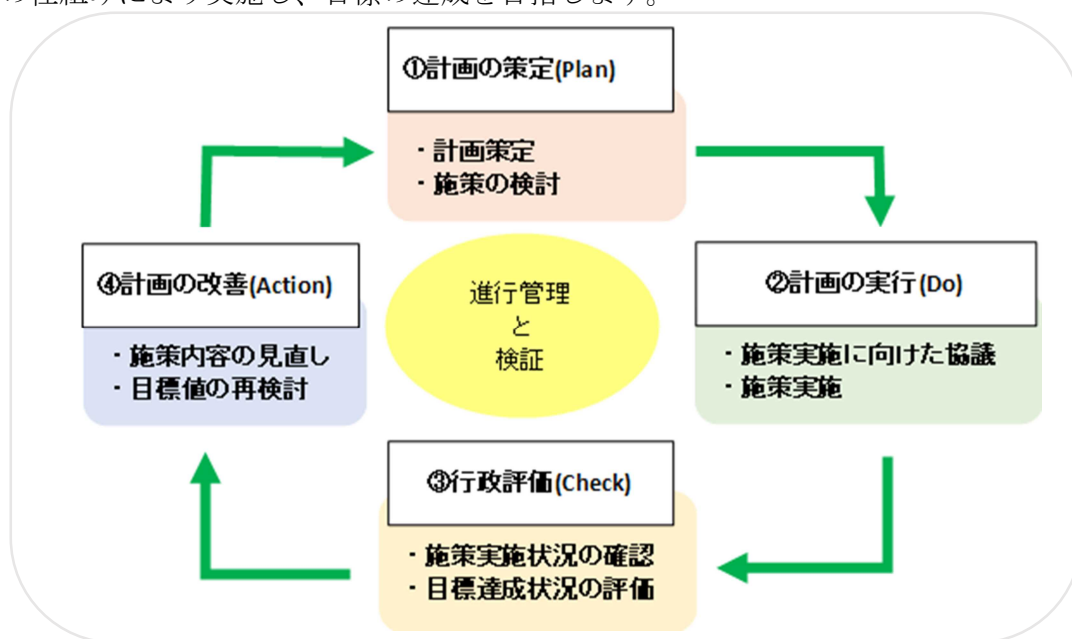


図 16：地域公共通計画が目指すPDCAサイクル

#### (2) 事業の評価方法

公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施し、本計画の評価は、最終年度（令和8年度）に事業者から提供された利用実績や各種アンケート調査などから、計画全体及び地域公共交通全体の評価・検証を実施し、次期計画の策定を検討します。

#### ■評価のスケジュール

		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
評価方法	利用者数調査	●	●	●	●	●
	市民アンケート調査			○		●
	利用者アンケート調査			○		●
施策実施の評価		●	●	●	●	●
計画の評価		○	○	○	○	●
計画・目標値の見直し		○	○	○	○	●
地域公共交通活性化協議会開催		●	●	●	●	●

凡例 ●:実施 ○:必要に応じて実施

### (3) 計画推進に向けた実施体制

大網白里市地域公共交通計画の実施にあたっては、行政だけでなく、交通事業者、市民の3者がそれぞれの役割を認識し、連携を強化しながら、持続可能な地域公共交通の確保に努めていきます。

#### ① 市民（地域、民間企業含む）

公共交通の利用者として、また、将来は自らが利用者となる可能性があることを踏まえ、利用促進や移動手段確保に関する取り組みへの主体的な参画により、公共交通の持続可能性と利便性の向上に協力します。

#### ② 交通事業者

地域の公共交通を担う責任のもと、安全性の確保及び利便性と持続可能性が両立した公共交通サービスの維持・充実に努めます。

#### ③ 行政

限られた予算の中で効率的な運行となるよう、関係者の意見を調整し、地域公共交通の持続可能性の維持・確保、充実に向けて総合的な支援を行います。

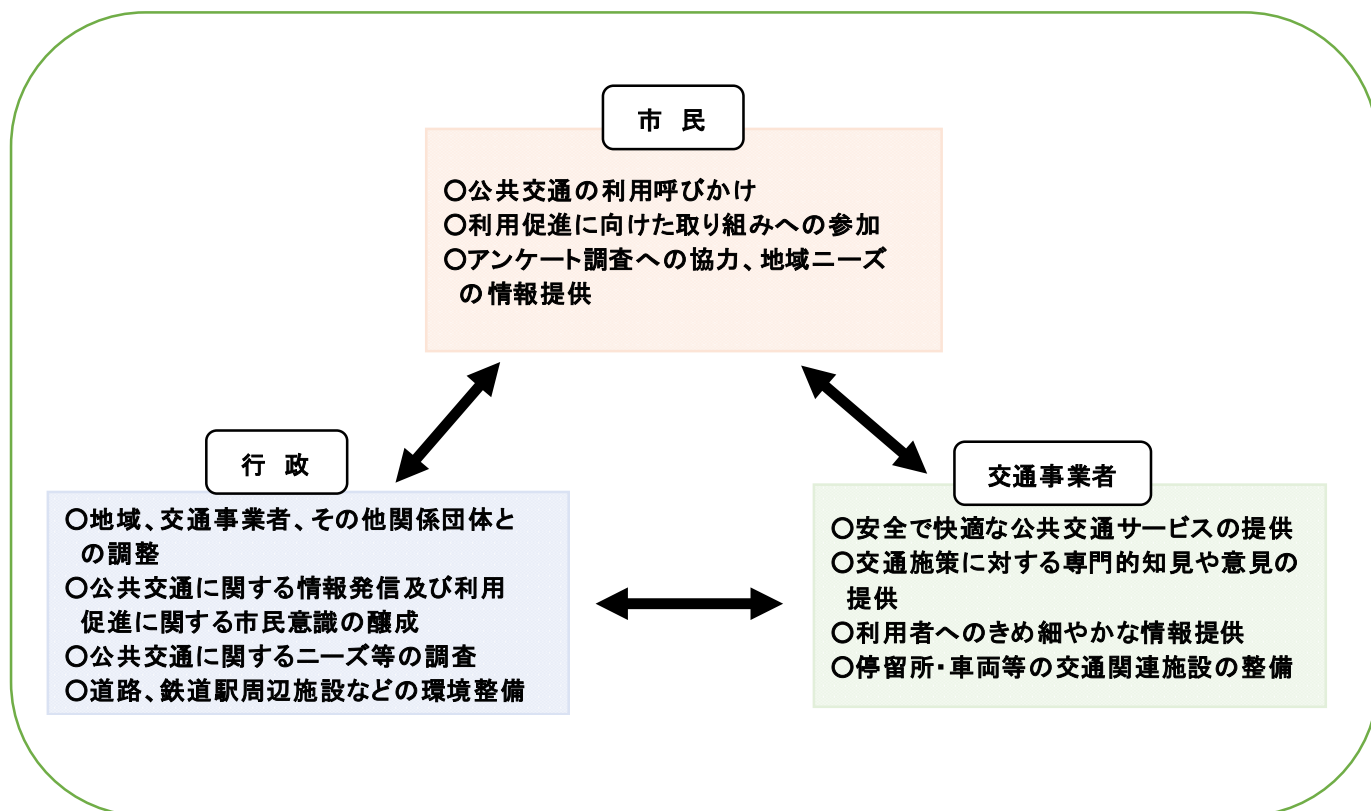


図 17：市民・交通事業者・行政の役割